

# オールインワンサーバー監視ツール WebSAM BOM Ver8.0のご紹介

2025年4月

日本電気株式会社

# 目次

1. WebSAM BOMとは
2. 特長
3. 機能詳細と利用シーン
4. オプション製品のご紹介
5. 動作環境
6. 価格

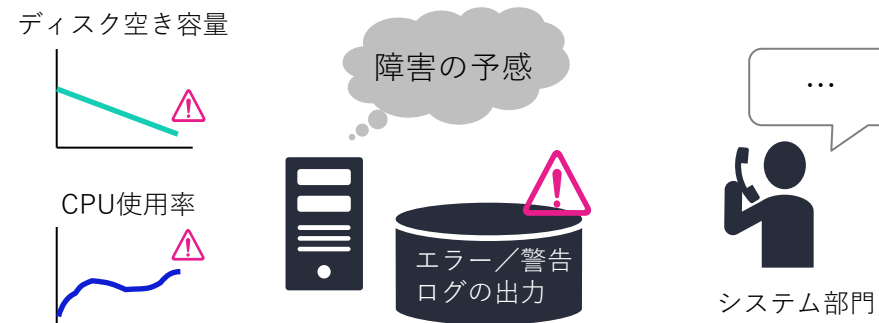
# 1. WebSAM BOMとは

# サーバー運用時によくある課題…

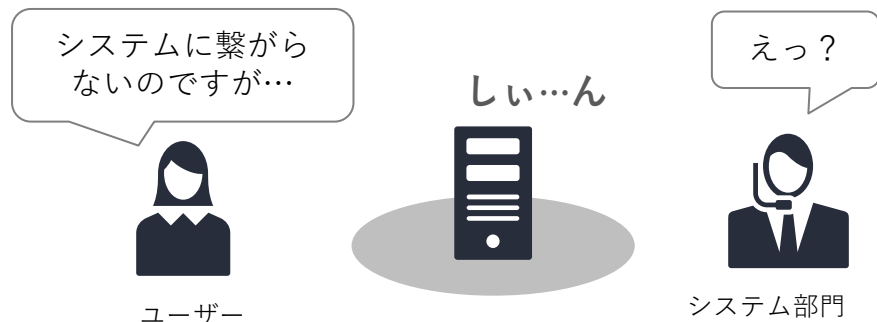
## サーバー管理の専門家が不足している



## 障害の予兆に気が付かない



## ユーザーからの連絡で初めて障害に気付く



## 障害発生時の定型業務に時間が奪われる



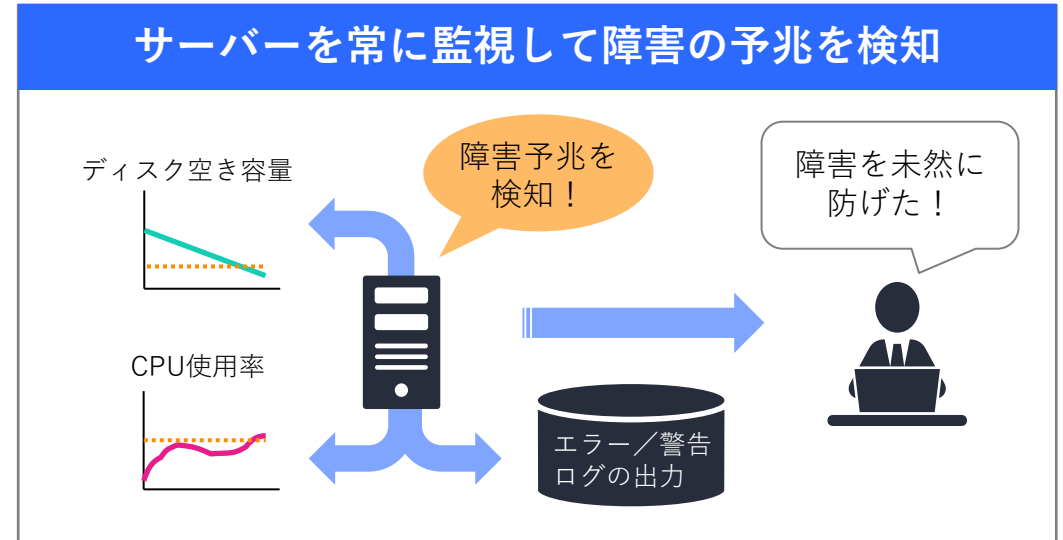
このままでは運用コストも膨大！システムの安定稼働も望めません。

# WebSAM BOMなら解決できます

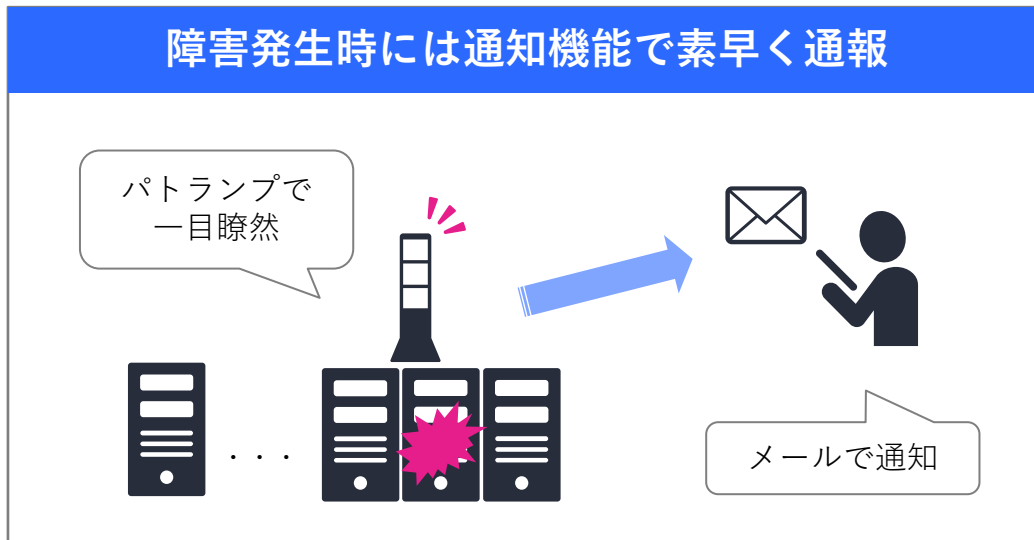
## 監視項目を一元管理して運用を効率化



## サーバーを常に監視して障害の予兆を検知



## 障害発生時には通知機能で素早く通報



## 自動リカバリ機能で障害の自動回避・自動修復



# こんな要件でご活用いただけます

## お客様の要件

サーバー監視に必要な機能が一通り揃っていて導入も容易に行いたい

異常時の初動を迅速に把握したい

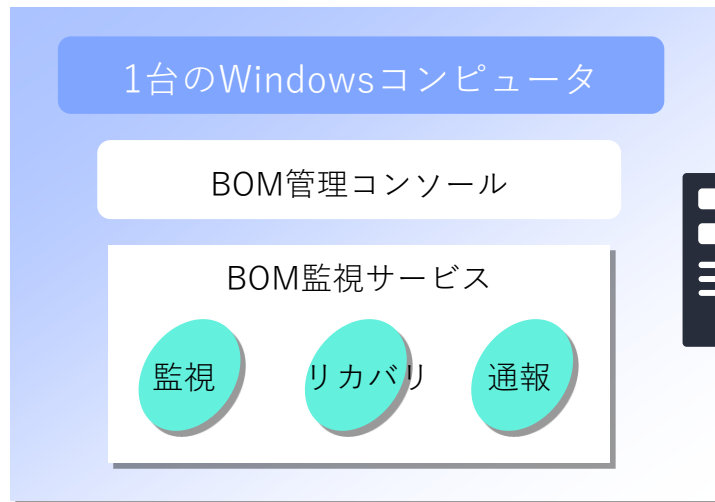
業務アプリケーションのログを監視し、障害ごとに通知先や対処方法を設定したい

## WebSAM BOMでの解決例

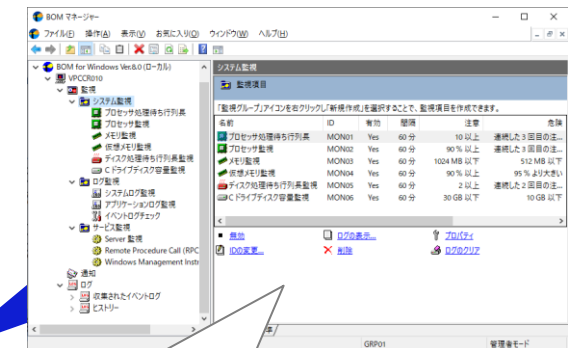
サーバー監視機能をオールインワンで提供  
設定もGUI操作で簡単に実現

監視機能 + 通知機能で解決

事象ごとに通知先や通知手段を変更可能  
自動リカバリの内容も個別に設定可能



メールなどで通報



Webブラウザから複数サーバーのステータス一覧も確認

## 2. 特長

# WebSAM BOMの特長

WebSAM BOMは、サーバー運用管理に必要な機能を一式備えています。  
サーバーの効率的な運用管理をシンプルに実現できます。

## ① シンプルでライトウェイト

監視用にリソースの増強・マシンの追加購入は必要ありません  
少ないリソース消費量で監視・通知・自動リカバリを全て行います。  
監視対象マシンにモジュールを導入しないリモート監視もサポートします。

## ② 簡単導入・簡単設定

OSや主要なパッケージソフト向けの「監視テンプレート」を標準装備  
「監視テンプレート」を用いることで簡単に監視が始められます。  
また、「監視テンプレート」はGUIから簡単にカスタマイズ可能です。

## ③ 優れたコストパフォーマンス

サーバーの運用管理に必要とされる基本機能を包括  
さらに、Oracle DatabaseやSQL Server、Linux、VMwareなどの監視を行うことが可能になる  
監視オプションも多数ご用意しています。



# 特長① シンプルでライトウェイト

監視のための新たなリソース増強やマシンの追加は必要ありません。  
モジュールを導入しないエージェントレス監視も可能です。

## システム要件



WebSAM BOMを  
導入するだけ！

BOM監視  
サービス

監視に大きなリソースの  
用意は不要！

## 推奨されるハードウェアスペック

CPU

OSの推奨環境に準拠

メモリ

1 インスタンスあたり100MB

ディスク

インストール時は100MB

※ ログなどを含めると3GB以上を推奨します

## リモート監視(代理監視)

監視対象サーバーに  
BOMをインストールすることなく、  
リモートから監視・自動リカバリ  
をすることも可能です

監視用サーバー

監視対象サーバー



BOM監視  
サービス

代理監視

シャットダウン  
サービス起動停止



ネットワーク

ソフトウェアの導入が  
困難な環境でも  
監視することが可能です

※ リモート監視(代理監視)では、BOMが使用する  
ポートの透過設定が必要になります

## 特長② 簡単導入・簡単設定

OSや主要なパッケージソフト向けの「監視テンプレート」を標準装備！  
インポートするだけですぐに監視が始められます。

### 簡単導入

監視用サーバーやDBMSを必要としません



監視用サーバー



監視対象サーバー

運用準備

監視設定

リカバリ設定

通知設定

※ アーカイブ機能を利用する場合にはDBMS (SQL Server) が必要になります



監視・自動リカバリ・通知すべてGUIで設定可能です

### 簡単設定

目的に応じた豊富な監視テンプレートを提供します

Windows  
システム監視

データベース  
サーバ監視

Web  
サーバ監視



ウィルス対策  
ソフト監視

バックアップ  
ソフト監視

しきい値も設定済み  
カスタマイズもGUIで実施できます！

インポートするだけでOK



監視  
テンプレート

監視対象サーバー



経験が浅い管理者でもすぐに監視が始められます

## 特長③ 優れたコストパフォーマンス

サーバーの運用管理に必要とされる基本機能を包括。  
Oracle DatabaseやSQL Server、Linuxなどの監視も行えます。

All in One

サービス監視	Windowsサービスの死活監視
イベントログ監視	イベントログの種別/ソース/IDや内容の文字列による検索*
プロセス監視	プロセスの稼動監視やプロセスごとの性能監視
パフォーマンスカウンター監視	CPU/メモリ/ディスク/ネットワークなどのリソースをしきい値監視
フォルダー・ファイル監視	任意フォルダー・ファイルの容量/個数に関するしきい値監視
テキストログ監視	任意のテキスト形式のアプリケーションログの文字列による検索*
PING/ポート監視	任意のホストに対するPING監視、TCP/UDPポートの死活監視
通知	メール通知やSNMPトラップ送信、イベントログ書き込みなど
リカバリ	アラート発生時に任意のコマンド/スクリプトを実行

使いやすさも  
こだわっています

監視スケジューリング機能、  
監視有効/無効化の切替機能、  
監視設定のインポート/エクスポート機能などを備えており、使い勝手も充実しています。

# Ver8.0 SR2機能強化ポイント

## Windows Serverの最新バージョン「Windows Server 2025」に対応

- 新機能/機能拡張
  - ・ BOM Syslog 受信機能を追加
  - ・ イベントログ監視のファイルエクスポート機能に拡張機能を追加
- 新プラットフォームへの対応
  - ・ Windows Server 2025、Windows Server IoT 2025

### 3. 機能詳細と利用シーン

# 監視機能の詳細

充実の監視機能をご提供します。

## リソース監視

ディスク容量監視	論理ディスクの空き容量を監視
フォルダー・ファイル監視	ファイルなどの容量や数を監視
プロセッサ監視	プロセッサ(CPU)の使用率を監視
メモリ監視	メモリの空き容量を監視
ディスク処理待ち行列長監視	全物理ディスクの負荷状況を監視
ネットワーク インターフェイス監視	ネットワークの負荷状況を監視
ネットワークアダプター監視	チーミングNICを含む、ネットワークアダプターの帯域使用率を監視
プロセス監視	プロセスの各種パフォーマンスを監視
パフォーマンスカウンター監視	パフォーマンスカウンターの値を監視

## 稼働監視

サービス監視	サービスの状態(開始/停止)を監視
プロセスリスト監視	プロセス一覧を取得し稼働状況を監視

## リモート監視

Ping監視	Ping(ICMP ECHO)疎通監視
ポート監視	TCP/UDPポート疎通監視

## ログ監視

イベントログ監視	イベントログを監視
テキストログ監視	任意のテキストログファイルを監視
BOMヒストリー監視	BOMのヒストリーログを監視

## RDS監視

RDSセッション監視	RDSのセッションの接続状況
RDSプロセス数	RDSのプロセスの稼働状況

## その他監視

インストールソフトウェア変更監視	Windows Update監視
AWS S3ストレージ容量監視	iLOログ監視
iRMログ監視	HTTPアクセス応答監視
SNMP Get 監視	重複ファイル監視カスタム監視
未アクセスファイル監視	カスタム監視

# 通知・アクション機能の詳細

監視結果に応じて、様々な通知やアクションを実行させることができます。  
複数のアクションを組み合わせることで作業の自動化を実現します。

## 通知

メール送信	SMTP形式のメール通知（Microsoft 365(OAuth2.0)に新規対応）
SNMPトラップ送信	SNMP形式のトラップ送信による通知
イベントログ書き込み	Windowsイベントログへの書き込みによる通知
カスタム通知	外部アプリケーションを利用した通知
syslog送信	syslog形式での通知

## アクション

サービスコントロール	サービスの開始/停止/再起動を制御
シャットダウン	Windowsのシャットダウン/再起動を制御
監視有効/無効	監視グループ/監視項目の有効化/無効化を制御
HTTPS送信	HTTPSプロトコルを使用したファイル/通知の送信
AWS S3ファイル送信	Amazon S3および、Amazon S3互換ストレージへ、任意のファイルを送信
RDSクライアント通知	接続中のクライアントに対して、通知メッセージを送信
RDSセッションログオフ	指定した条件に該当するステータスのセッションを強制的にログオフ
カスタムアクション	外部アプリケーションを利用したアクション 任意のコマンドラインやスクリプトプログラム(バッチファイル、WSH、PowerShell等)を実行



カスタム通知を利用して、例えばパトライトなどの表示灯を点灯させることが可能です。



カスタムアクションを利用して、任意の復旧バッチなどを実行させることが可能です。

# WebSAM BOMの利用シーン

よくある障害事例	考え得る原因 (チェックポイント)	WebSAM BOMによる 検出・対応機能
システムの動作が不安定 レスポンスが遅い 時々システムに接続できない	メモリリソース不足 アプリケーションのリソース未開放	パフォーマンスカウンター監視 プロセス監視
	アクセス集中によるリソース競合待ち ディスクI/Oアクセス性能劣化	パフォーマンスカウンター監視
	ネットワーク負荷、機器の物理的故障	PING監視
ファイルサーバーへのアクセスが遅い	ディスク容量不足	フォルダー・ファイル監視
	ディスクI/Oアクセス性能劣化	パフォーマンスカウンター監視
	ネットワーク負荷、機器の物理的故障	PING監視
業務システムが突然アクセスを受け付けなくなった	業務システムのサービス停止	サービス監視
	ネットワーク負荷、機器の物理的故障	ポート監視、PING監視
	サービスに障害が発生	イベントログ監視
自動走行バッチ処理 (バックアップ、業務他)の異常終了や ストール	バックアップサーバーの停止	PING監視/サービス監視
	バックアップ先の容量オーバー	フォルダー・ファイル監視(ディスク監視)
	媒体不良	イベントログ監視
	リソース不足	パフォーマンスカウンター監視



## 4. オプション製品のご紹介

# WebSAM BOM Oracleオプション 製品特長

WebSAM BOM Oracleオプションを利用することにより、  
OSからは見えないOracle Database内部の詳細な監視が可能になります。

表領域の使用容量、使用率監視

表領域の使用サイズ、使用率の監視

同時セッション数監視

Oracle Databaseに接続されたクライアントセッション数を監視

表領域の最大空き容量監視

データファイル(セグメント)内の空き容量を監視

エクステント増分回数監視

指定したセグメントのエクステント増分回数を監視

Oracle Database稼働監視

監視結果の“失敗”をトリガに、Oracle Databaseへの接続可否を確認

ストアドファンクションの実行監視

ストアドファンクションの戻り値を監視

通知

メール通知やSNMPトラップ送信、イベントログ書き込みなど

リカバリ

アラート発生時に任意のコマンド/スクリプトを実行

# WebSAM BOM Oracleオプション 利用シーン

よくある障害事例	考え得る原因 (チェックポイント)	WebSAM BOMによる検出・対応機能
データの追加ができない	表領域の容量不足	表領域の使用量・使用率監視*
	テーブルなどのエクステント回数が上限に達している	エクステント増分回数監視*
DBサーバーのアクセスが遅い	接続セッション数の増加	同時セッション数監視*
	アクセス集中によるリソース競合待ち ディスクI/Oアクセス性能劣化	パフォーマンスカウンタ監視
	メモリリソース不足 アプリケーションのリソース未開放	パフォーマンスカウンタ監視 プロセス監視
DBサーバーに接続できない	接続セッション数が上限に達している	同時セッション数監視*
	プロセスが起動していない	プロセス監視
	サービスが起動していない	サービス監視
DBサーバーの動作が不安定	エラーログのチェック漏れ	テキストログ監視
オブジェクトが作成できない	表領域の最大空き容量の不足	表領域の最大空き容量監視*
DBサーバーが正常稼働していない 状態に気が付かない	原因不明の障害	監視結果の“失敗”によるDB接続可否の検知*

\* Oracleオプションを導入することで実現可能となります。

# WebSAM BOM Linuxオプション 製品特長

WebSAM BOM Linuxオプションを導入することで、  
WindowsサーバーからLinuxサーバーのリモート監視が行えます。

テキストログ監視	Linuxサーバーで出力されるログ内容の文字列による検索*
プロセス監視	プロセスの死活監視やプロセスごとの性能を監視
プロセッサ監視	CPUのリソースをしきい値監視
メモリ監視	メモリのリソースをしきい値監視
ディスク容量監視・ディスクアクセス監視	ディスクのリソースをしきい値監視
ネットワークインターフェイス監視	ネットワークインターフェイスI/Oのしきい値監視
ディレクトリ・ファイル監視	任意ディレクトリ・ファイルの容量/個数に関するしきい値監視
サービスポート監視	任意ホストのTCP/UDPポートの死活監視
通知	SYSLOGへの書き込み
リカバリ	アラート発生時に任意のLinuxスクリプトを実行

# WebSAM BOM Linuxオプション 利用シーン

よくある障害事例	考え得る原因 (チェックポイント)	WebSAM BOMによる検出・対応機能
システムの動作が不安定 レスポンスが遅い 時々システムに接続できない	メモリリソース不足 アプリケーションのリソース未開放	<u>メモリ監視*</u> <u>ディスクアクセス監視*</u>
	アクセス集中によるリソース競合待ち ディスクI/Oアクセス性能劣化	<u>プロセス監視*</u>
	ネットワークへの負荷 機器の物理的故障	<u>ネットワークインターフェイス監視*</u> PING監視
ファイルサーバーへのアクセスが遅い	ディスク容量不足	<u>ディレクトリ・ファイル監視*</u> <u>ディスク容量監視*</u>
	ディスクI/Oアクセス性能劣化	<u>ディスクアクセス監視*</u>
	ネットワークへの負荷 機器の物理的故障	<u>ネットワークインターフェイス監視*</u> PING監視
業務システムが接続を受け付けない	業務システムのプロセス停止	<u>プロセス監視*</u>
	ネットワークへの負荷 機器の物理的故障	<u>ネットワークインターフェイス監視*</u> PING監視、 <u>サービスポート監視*</u>
	サービスに障害が発生	<u>テキストログ監視*</u>
自動走行バッチ処理(バックアップ、業務他)の異常終了やストール	バックアップサーバーの停止	<u>プロセス監視*</u> 、PING監視
	バックアップ先の容量オーバー	<u>ディレクトリ・ファイル監視*</u> <u>ディスク容量監視*</u>
	媒体不良	<u>テキストログ監視*</u>
	リソース不足	<u>プロセッサ監視*</u> 、 <u>メモリ監視*</u>

\* Linuxオプションを導入することで実現可能となります。

# WebSAM BOM VMwareオプション 製品特長

WebSAM BOM VMwareオプションを導入することで、  
WindowsサーバーからVMwareホストのリモート監視が行えます。

ストレージ空き容量監視

ESXホストや仮想マシンで使用しているストレージの容量監視

ハードウェアステータス監視

ESXホストのハードウェアステータスの状態監視

ステータス監視

ESXホストや仮想マシンの実行ステータスの監視

仮想マシン数監視

ESXホスト上の仮想マシン数の監視

パフォーマンスカウンタ監視

各種パフォーマンスリソースをしきい値監視

イベント・タスク監視

ESXホストやvCenter Serverが出力するログの監視

Ping・ポート監視

ICMPパケットによるレスポンス、TCP/UDPポート状態の監視

ビューアーデータ収集

専用ログビューアで表示するためのデータ収集

通知

メール通知やSNMPトラップ送信、イベントログ書き込みなど

リカバリ

ESXホストや仮想マシンのON/OFF/シャットダウンなどを実行

# WebSAM BOM Vmwareオプション 利用シーン

よくある障害事例	考え得る原因 (チェックポイント)	WebSAM BOMによる検出・対応機能
システムの動作が不安定 レスポンスが遅い	メモリリソース不足	<u>パフォーマンスカウンター監視*</u>
	アクセス集中によるリソース競合待ち ディスクI/Oアクセス性能劣化	
	仮想マシンの過度の起動	<u>仮想マシン数監視*</u>
全体的なディスクアクセスの パフォーマンスが悪い	ディスク容量不足	<u>ストレージ空き容量監視*</u>
	ディスクI/Oアクセス性能劣化	<u>パフォーマンスカウンター監視*</u>
	ストレージの物理的故障	<u>ハードウェアステータス監視*</u>
特定のゲストOSの動きがおかしい	ゲストOSのダウン	<u>ステータス監視*</u> PING監視
	サービスに障害が発生	<u>イベント監視*</u> <u>タスク監視*</u>
ゲストOSの数が増えすぎて負荷増大	ゲストOSを簡単に増やせるため増加	<u>仮想マシン数監視*</u>

\* VMwareオプションを導入することで実現可能となります。

# WebSAM BOM SQL Serverオプション 製品特長

WebSAM BOM SQL Serverオプションを利用することにより、SQL Serverに特化した監視が可能になります。

データベースの使用容量、使用率監視

データベースの使用サイズ、使用率の監視

同時セッション数監視

SQL Serverに接続されたクライアントセッション数を監視

データベースの最大空き容量監視

指定したデータベースの最大空き容量を監視

エクステンツ増分回数監視

指定したデータベースのエクステンツ増分回数を監視

SQL Server稼働監視

監視結果の“失敗”をトリガに、SQL Serverへの接続可否を確認

ストアドファンクションの実行監視

指定したデータベース内のストアドファンクションの戻り値を監視

通知

メール通知やSNMPトラップ送信、イベントログ書き込みなど

リカバリ

アラート発生時に任意のコマンド/スクリプトを実行



# WebSAM BOM SQL Serverオプション 利用シーン

よくある障害事例	考え得る原因 (チェックポイント)	WebSAM BOMによる検出・対応機能
データの追加ができない	データベースの容量不足	<u>データベースの使用量・使用率監視*</u>
	テーブルなどのエクステント回数が上限に達している	<u>エクステント増分回数監視*</u>
DBサーバーのアクセスが遅い	接続セッション数の増加	<u>同時セッション数監視*</u>
	アクセス集中によるリソース競合待ち ディスクI/Oアクセス性能劣化	パフォーマンスカウンター監視
	メモリリソース不足 アプリケーションのリソース未開放	パフォーマンスカウンター監視 プロセス監視
DBサーバーに接続できない	接続セッション数が上限に達している	<u>同時セッション数監視*</u>
	プロセスが起動していない	プロセス監視
	サービスが起動していない	サービス監視
DBサーバーの動作が不安定	エラーログのチェック漏れ	テキストログ監視
オブジェクトが作成できない	データベースの最大空き容量の不足	<u>データベースの最大空き容量監視*</u>
DBサーバーが正常稼働していない 状態に気が付かない	原因不明の障害	<u>監視結果の“失敗”によるDB接続可否の検知*</u>

\* SQL Serverオプションを導入することで実現可能となります。

# WebSAM BOM Reportオプション 製品特長

監視状況にコメントを添えたレポートを自動生成することで、  
将来に向けた計画的なサーバー運用やリソース増強をサポートします。

サーバ診断レポート

プロセス詳細情報\*

全インスタンス概要

過去比較情報

ディスククォータ情報\*

ArcserveUDIPv6ログリスト

詳細グラフ情報

アプリケーションログ情報

Hyper-V仮想環境レポート

システム基本情報

システムログ情報

VMwareサーバ診断レポート

ハードウェア情報

セキュリティログ情報\*

VMwareシステム基本情報

ソフトウェア情報

セキュリティログ詳細

VMware詳細グラフ情報

ハードウェア・ソフトウェア  
差分情報

テキストログ情報

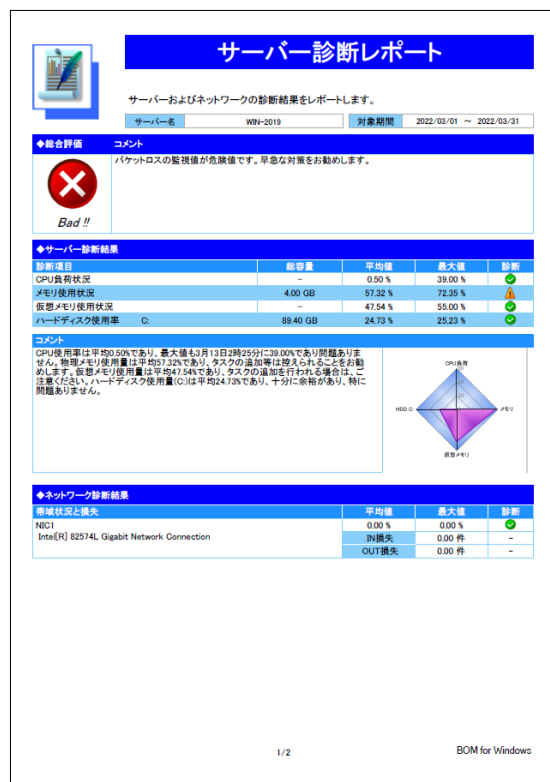
VMwareログ情報

\* 監視対象サーバーがLinuxの場合はレポートを出力することはできません。

# WebSAM BOM Reportオプション レポート詳細

サーバーの使用状況に応じたグラフィカルなレポートを作成  
レポート自動出力ツールを利用することで任意のフォルダーに生成可能

## サーバー診断レポート



## 過去比較情報



サーバーの使用状況に応じて、分析結果のコメントまで自動生成。  
レポート作成の工数がかからず、そのままお客様に提出可能。

## 5. 動作環境

# WebSAM BOM 基本製品 動作環境①

## ■ WebSAM BOM サポート OS

バージョン	エディション	備考
Windows 11	Pro / Enterprise	
Windows 10	Pro(64bit) / Enterprise(64bit)	20H2以降
Windows Server 2025 Windows Server 2022 Windows Server 2019 Windows Server 2016 <b>バージョン1607以降</b>	Standard / Datacenter	<ul style="list-style-type: none"><li>・ Server Coreインストールオプションを用いてOSをインストールした場合は、代理監視機能によるリモート監視のみサポート対象です。</li><li>・ Nano Server インストールの場合、代理監視機能によるリモート監視のみサポートしています。</li></ul>
Windows Server IoT 2025 Windows Server IoT 2022 Windows Server IoT 2019 for Storage Windows Storage Server 2016		<ul style="list-style-type: none"><li>・ BOM オプション製品は動作対象外です。</li><li>・ 代理監視機能によるリモート監視のみサポート対象です。</li></ul>

# WebSAM BOM 基本製品 動作環境②

## ■ ハードウェア要件

項目		内容
CPU		OSの推奨環境に準拠
システムメモリ	1インスタンスあたりの占有メモリ容量	100MB
ディスク(空き容量)	インストール時の占有ディスク容量	100MB
	1インスタンスあたりの推奨ディスク容量	3GB

## ■ BOMアーカイブ機能 サポートデータベース

BOMアーカイブ機能を用いることで、BOMの監視データをデータベースに蓄積することができるようになります。

複数の監視対象コンピュータの監視データを長期間保存することが可能になるため、障害履歴の長期保存や障害分析時にご活用いただけます。

※基本製品(WebSAM BOM for Windows)の標準機能であり、利用する際に特別なライセンスは必要ありません。

バージョン	エディション	備考
SQL Server 2019 SQL Server 2017 SQL Server 2016	Express / Standard / Enterprise	<ul style="list-style-type: none"><li>各データベースが動作するOS、およびハードウェア要件は、それぞれのデータベースの動作要件に準拠します。</li><li>Express Editionでは一部の機能が利用できません。また、NECではExpress Editionの提供・サポートは行っておりません。</li></ul>

# WebSAM BOM 基本製品 動作環境③

## ■ BOM集中監視コンソール機能 サポートWebブラウザ

BOMで監視を行っている各インスタンスの監視ステータスをWebブラウザで確認することができます。

※基本製品(WebSAM BOM for Windows)の標準機能であり、利用する際に特別なライセンスは必要ありません。

ソフトウェア	バージョン
Internet Explorer	11
Microsoft Edge (Chromiumベース)	96.0.1054.62 (64-bit) にて表示検証
Google Chrome	96.0.4664.110 (64-bit) にて表示検証

# WebSAM BOM オプション製品 動作環境①

## ■ WebSAM BOM Oracleオプション サポート OS

対応するOracle Database
Oracle Database 21c for Microsoft Windows x64 Oracle Database 19c for Microsoft Windows x64
<ul style="list-style-type: none"><li>・対応するOracle Clientは、各Oracleバージョンに標準で添付されるOracle Clientのみです</li><li>・Oracle オプションを導入する監視元コンピューターの要件については、'BOM for Windows Ver.8.0のシステム要件を確認してください。 ※監視対象のOracle DBは、監視元コンピューター上で動作している必要があります。 ※ 動作環境のWindows OSと監視対象のOracle DBの組み合わせ、およびOracle DBの動作環境に関しては、OracleDBの動作要件に準拠します。 ※ Windows クライアントOS上では動作しません</li></ul>

## ■ WebSAM BOM Linuxオプション サポート OS

Linuxディストリビューション ※1	バージョン
Red Hat Enterprise Linux	7.1以降 (64bit)※2 8.0以降 (64bit) 9.0(64bit)
Ubuntu	18.04 (LTS) 20.04 (LTS) 22.04 (LTS)

※1 監視対象コンピューターにはOpenSSH (Ver.2.3.0 以上)、Perl (v5.8.0 以上) のインストールが必要です。

※2 Red Hat Enterprise Linux 7.0 はサポート対象外です。

## ■ WebSAM BOM VMwareオプション サポート OS

ESXホスト	バージョン
VMware ESXi	6.7/7.0
VMware vSphere	6.7/7.0



# WebSAM BOM オプション製品 動作環境②

## ■ WebSAM BOM SQL Serverオプション サポートOS

対応するSQL Server	サービスパック
SQL Server 2019 各エディション	SPなし
SQL Server 2017 各エディション	SPなし
SQL Server 2016 各エディション	ServicePack3
SQL Server 2014 各エディション	ServicePack3

※サポート対象となるOSとSQL Serverの組み合わせに関しては、SQL Serverの動作要件に準拠します。

※Windows クライアント OS 上では動作しません

## ■ WebSAM BOM Reportオプション サポートOS

レポートデータベース対応SQL Serverバージョン		アーカイブ機能 サポートデータベース動作環境を参照ください。
レポートクライアント 動作環境	サポートOS	BOM 8.0 基本製品の動作環境を参照ください。
	その他の要件	NET Framework 4.6.2 以降 ※ BOM 8.0のサポートOSには通常、標準状態でインストールされています。

## 6. 価格

# WebSAM BOM 基本製品 価格表

## ■ 基本製品(必須ライセンス)

WebSAM BOMの基本製品であり、WebSAM BOMを利用するシステムに必ず一つ以上必要なライセンスです。  
本ライセンスで、Windowsサーバー1台の監視が可能です。

型番	製品名	希望小売価格	月額標準サポート料金
UL1053-901	WebSAM BOM for Windows Ver8.0 基本パッケージ	148,000	2,200

## ■ 基本製品(追加ライセンス)

基本製品の追加ライセンスです。  
ボリュームライセンスや仮想化環境のゲストOS用ライセンスも用意しています。

型番	製品名	希望小売価格	月額標準サポート料金
UL1053-911	WebSAM BOM for Windows Ver8.0 サーバー追加 1ライセンス	130,000	2,200
UL1053-921	WebSAM BOM for Windows Ver8.0 サーバー追加 10ライセンス	900,000	13,000
UL1053-931	WebSAM BOM for Windows Ver8.0 サーバー追加 50ライセンス	3,750,000	54,000
UL1053-971	WebSAM BOM for Windows Ver8.0 ゲストOS追加 1ライセンス	70,000	1,100
UL1053-981	WebSAM BOM Ver8.0 ゲストOS追加 50ライセンス (Windows/Linux)	1,500,000	21,700

# WebSAM BOM オプション製品 価格表

## ■ オプション製品(監視拡張ライセンス)

特定のアプリケーションやプラットフォームに特化した監視が可能になるオプション製品です。  
Linuxサーバー監視用のオプション製品は、仮想環境上のゲストOS用ライセンスも用意しています。

型番	製品名	希望小売価格	月額標準サポート料金
UL1053-903	WebSAM BOM Oracleオプション Ver8.0	118,000	1,800
UL1053-913	WebSAM BOM Oracleオプション Ver8.0 10ライセンス	750,000	10,900
UL1053-905	WebSAM BOM Linuxオプション Ver8.0	118,000	1,800
UL1053-915	WebSAM BOM Linuxオプション Ver8.0 10ライセンス	750,000	10,900
UL1053-975	WebSAM BOM Linuxオプション Ver8.0 ゲストOS追加 1ライセンス	70,000	1,100
UL1053-906	WebSAM BOM SQL Serverオプション Ver8.0	118,000	1,800
UL1053-909	WebSAM BOM VMwareオプション Ver8.0	118,000	1,800

## ■ オプション製品(その他ライセンス)

監視対象サーバーの稼働状況を分析して診断レポートを作成することが可能になるReportオプションや、監視対象サーバーに対する遠隔操作が行えるようになるリモートコントロール オプションなど、様々なオプション製品を用意しています。

型番	製品名	希望小売価格	月額標準サポート料金
UL1053-908	WebSAM BOM Reportオプション Ver8.0	98,000	1,500

# お問い合わせ先/製品ご紹介サイト

## ■ お問い合わせ窓口（社外）

### NEC ファーストコンタクトセンター

TEL: 0120-5800-72

受付時間: 9:00～12:00 13:00～17:00  
月曜日～金曜日(祝日・NEC所定の休日を除く)

製品URL: <https://jpn.nec.com/websam/bom/>

**NEC**

\Orchestrating a brighter world